

7月 13～16週(月4回授業)

1	土	期末考査対策補習(妹尾・庭瀬・茶屋町校)	
2	日	休校	
3	月	13週7月第1週 期末考査(多津美、大安寺)	
4	火	期末考査(藤田、福田、多津美、大安寺)	
5	水	期末考査(藤田、福田、多津美、吉備、天城)	
6	木	期末考査(藤田、福田、吉備、天城)	
7	金	期末考査(吉備、天城)	
8	土		
9	日	休校	
10	月	14週7月第2週	
11	火	夏前面談終了	
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	休校	
17	月	休校	
18	火	15週7月第3週 夏期講習第1ターム	自律する！ 夏期講習
19	水	終業式	
20	木		
21	金		
22	土		
23	日	休校	
24	月		
25	火	16週7月第4週④ 夏期講習第2ターム	
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	日	休校	
31	月		
1	火	17週8月第1週 夏期講習第3ターム	
2	水		

ヒーローズ  
Hero's おかやま



2017年6-7月号

ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。  
6月も半ば、この稿を記しているころ、梅雨に入りました。梅雨が明ければよいよ‘夏’です。受験生にとっては正念場の時期となります。この夏の伸びがそのまま来春の受験へと直結していきます。

**夏講習、受付締め切りは7月8日(土)です。**

受験生たちにくいつか述べておきます。まずは、志望校を明確にする。志望校はやはり、身近なものであると意識しますね。親や親戚の母校、あるいは兄弟が行っている学校などなどみなさんが小さい時から聞いたことのある学校が志望校になっているような気がします。より具体的にするためにオープンスクールや文化祭、友人や先輩の声などを通じて情報をさらに集めていくことです。また、大学進学を見据えている生徒さんはその学校の大学合格実績はどうなっているか、それに向けてどういったカリキュラムが組まれているか、部活や施設はどのようになっているかなどを集めましょう。具体的な志望校を持っているからこそ模試を受験する意義もあり、また、『志望校偏差値にあと 足りないから、この教科のこの単元を頑張る』等、より具体的な行動がとれるようになります。頑張りの本質は具体的であることです。具体的だから行動になります。次に「微妙・・・多分・・・分かる。」の撲滅、です。受験生となれば最高学齢です。学習内容は難しくなるのは当たり前ですので勉強を始めたころは分からないことや忘れていたことが次から次へ出て来でしょう。そのようなときには、すぐに確認し、わかるまで理解することです。教科書やテキスト、塾でまとめている学びノート、塾への質問プリントなどを利用して自分で正解になるまで根気よく繰り返すことです。ここであきらめ癖をつけてはいけません。例えば、暗記と言われる理科や社会などは「覚えればいい。」と言いますが、理科は物事や現象の理屈、社会は流れや前後の因果関係や背景などの理解がないと記述問題などは対応できません。いろいろな方法で、微妙や多分分かるなどをなくしていくことが大切です。「多分から完全に分かる」へ持っていきましょう。入試は、基本的には1回勝負です。もう1回はありません。普段の勉強も同じように、もう1回はない、2度と同じ間違いをしないと強く意識すれば、同じ勉強時間でも身につけ方が全然違うはず。気持ち1つで変えられることがたくさんあります。最後に合格を勝ち取るのは自分、強い気持ちを持つ！です、メンタルです。志望校に受かりたいという強い気持ちを持って夏を迎えて欲しいです。『自律する。』夏でいきましょう。

**7月17日(月)祝日休校です。**17日の海の日は祝日休校です。

振替はありません。(月曜は7月3、10、24、31日の4回。) 7月18日(火)より毎週火曜が通常授業の週の始まりとなります。

## 夏期講習を決めましょう。6月26日(月)～7月11日(火)夏前面談です。

対象は全生徒さん、受験生のみ3者面談でのお願いです。中3生は6月10日(土)に各教室で受験していただいた岡山県模試は7月7日に事務局より返却ですので、7日以降の面談の生徒さんは返却も兼ねて、夏期講習のご案内をさせていただきます。その際は第1志望校と6月の模試の結果をみて個別に各教科をご提案させていただきます。例年、**原則、中3受験生、小6受験生は講習受講として通常授業を切り替えていますので7月18日(火)～9月4日(月)までの通常授業は行いません。(7月の通常授業2週分は返金致します。)**また自学自習を選択している生徒さんも夏期講習中はありません。それ以外の学齢の生徒さんは通常授業に増コマとして夏期講習を併用し、そのまま夏も継続しても良いですし、通常授業を一旦、夏期講習期間中は中断し、夏期講習のみに切り替えていただくこともできます。1年のうちで一番、まとまった時間です。普段、通常授業が少ない生徒さんは、苦手単元や勉強していない教科などをとるなどして、夏期講習を利用して学習していきましょう。**よりよい結果を生み出すためには生産性を上げる、**これは世の中の法則です。同封の『自律する夏講習！』だけではわからないと思いますので、『自律する夏講習』をご持参のうえ面談にて話し合いましょう。**別紙、面談用紙をご提出ください。メールでも対応できます。**

## 真っすぐに生きる道、それが道徳。徳を学べば豊になれます。

今年の夏のプレゼント本は平光雄さんの『子どもたちが身乗り出して聞く道徳の話』です。

2013年以來、毎年夏に、保護者様にもお子様(生徒さん)にも是非、読んでほしい本を厳選してお配りしていますが、今年、弊塾の指導の考え方にもなっています平先生の書籍です。何度も何度も読み返し、この稿のネタにもなっているモノです。かってに参考にさせてもらっているの、これまでの罪滅ぼしです。

とくに19ページの「自律」、一線を引ける生徒さんか否か？夏のテーマにもしました。これは塾でも大切な要素です。また、54ページの「信用と自由」、116ページの「節目」などは今までに紹介してきました。また、132ページの「成功」などはこれまで面談で何度も生徒さんに話しました。個人的に好きなのは64ページの「寛容」です。以前、子供がここにある、こわい目の絵を発見、今ではいつも66ページにある応援の目です。話だと伝わらないですが絵だと伝わることを実感したわけ。我々のころ昭和時代には「道徳」という科目がありました。が、昨今は行われていません。学習指導要領に1週間1時間の実施と明記されていますが、実際に現場では平和学習など他の時間にすり替わっているのが実態です。そのため2018年から小学生、2019年からは中学生で「道徳」が教科化されます。各地で起こる陰湿ないじめ問題などもあってか世論を背景に決まったことだと思います。思うに、「道徳」などは本来、議論したり調べたりするものではありません。この世に生まれて自然と身につけるもの、つまり、その人なりの歴史であり、ご家庭での環境や価値観でしょう。「道徳」が身につけている生徒さんは、やはり学習の伸びも素晴らしいものがあります。逆に身につけていない生徒さんは、学習以前の問題で残念な結果となることが多いです。挨拶などはもっとも典型です。ご家庭で、是非、生徒さんたちと一緒に読んでもらえれば嬉しく思います。

